

HOPE公開イベント

変容する国際安全保障と核兵器

主催

へいわ創造機構ひろしま(HOPE)、広島県



6月16日(日)
13:30~16:00

広島国際会議場 ダリア①
(広島市中区中島町1-5)

参加無料・同時通訳あり
オンラインでライブ配信予定

世界が多極化し、分断を深める中、国際安全保障は大きく変化しています。ロシアによるウクライナ侵略や中東情勢の緊迫化など、各地の混乱は、地域の安全保障に影響を与え、それは世界に波及し、国際安全保障をより複雑にしています。そうした中、核兵器への依存が世界では高まっています。

イベントでは、この国際安全保障の複雑性と地域安全保障との関連性をテーマに、アジア太平洋地域、インド太平洋地域、欧州大西洋地域、中東地域の専門家が、各地での出来事がもたらす地域的、世界的影響と核兵器の役割について、それぞれの地域の視点から議論します。また、被爆地の経験が、各地域に与えている影響や日本に期待される役割についても、考えていきます。

*このイベントは、核抑止に頼らない国際安全保障のビジョン研究事業の委託先である英国王立防衛安全保障研究所(RUSI)の協力で開催しています。



参加申し込みは、HOPEウェブサイトの[イベントページ](#)からお願いします。
こちらのQRコードからもアクセスできます。

イベント情報はウェブサイトですぐ更新していきます。

お問い合わせは「へいわ創造機構ひろしま」まで
TEL 082-513-2466

プログラム

■ 13:30 – 13:40 開会あいさつ



湯崎英彦

へいわ創造機構ひろしま代表、広島県知事

■ 13:40 – 14:40 セッション1

世界と地域の安全保障の関わりと、核兵器との関係

14:40 – 14:55 休憩

■ 14:55 – 15:55 セッション2

現在の国際情勢における被爆地と日本の役割

■ 16:00 閉会

登壇者



モデレーター

秋山信将

一橋大学国際・公共政策大学院 教授



パネリスト

マルコム・チャーマーズ

英国王立防衛安全保障研究所 副所長



パネリスト

イブラヒム・フライハト

ドーハ大学院研究所 准教授



パネリスト

岩間陽子

政策研究大学院大学 教授



パネリスト

マンプリート・セティ

印空軍力研究センター(CAPS) 特別フェロー
核軍縮・不拡散アジア太平洋リーダーシップ・ネットワーク (APLN)
上級研究アドバイザー